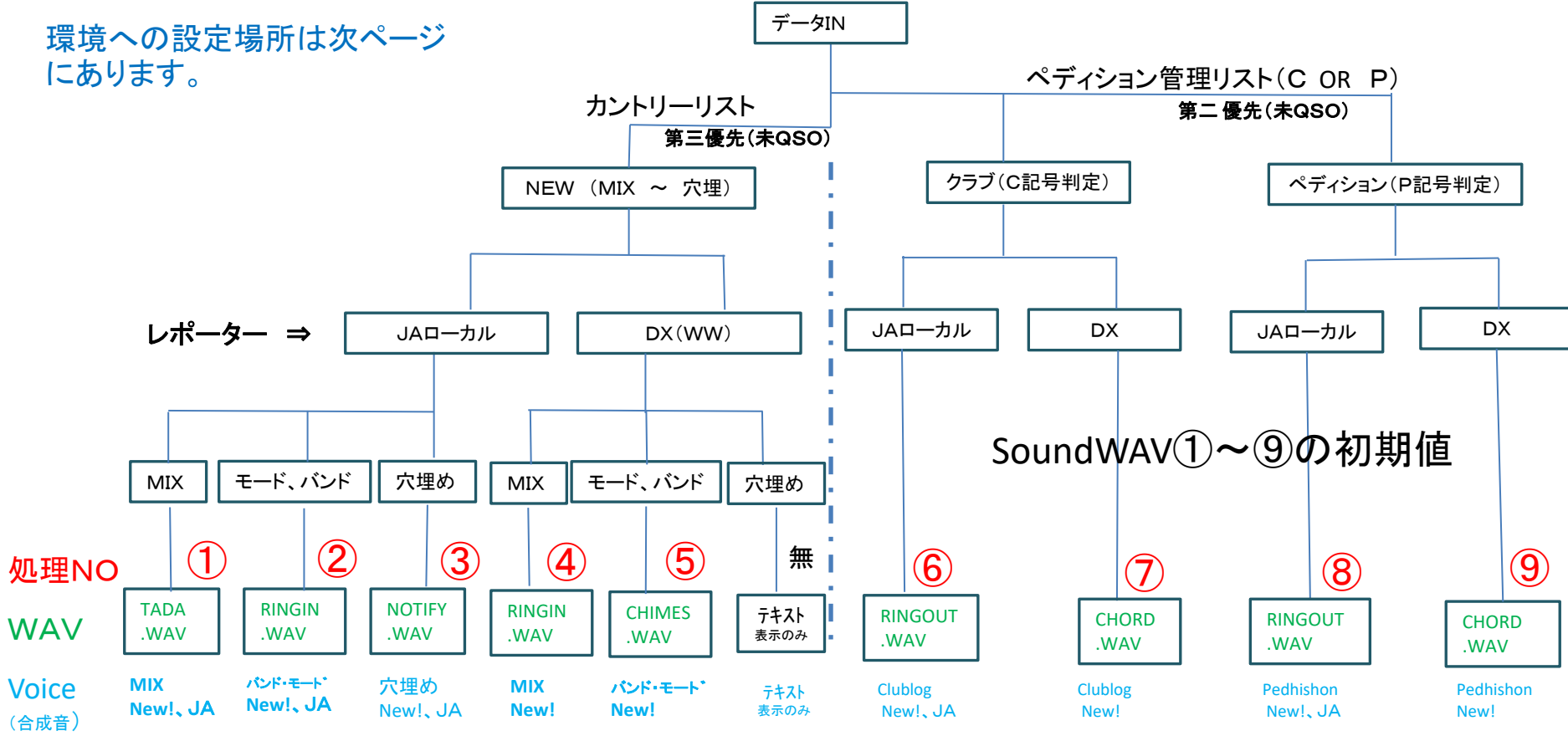


フローチャート

ウエーブ音(ボイス音)設定

環境への設定場所は次ページにあります。



初期設定は上の様になっています。

- 1 TADA.WAV(ジャジャー)
- 2 RINGIN.WAV(ベル)
- 3 NOTIFY.WAV(プアオン)
- 4 CHIMES.WAV(チャラー)
- 5 RINGOUT.WAV(プルプル)
- 6 CHORD.WAV(ブム)

環境設定でそれぞれの音を指定してください。
 左の他に各自のシステム内の適宜なWAVを指定できます。
 各自で環境欄の説明欄に似合う音を設定してください。
 初期値は当方も実戦で適宜変更いたしますので参考としてみてください。
 設定例は環境設定例(P-2)を参考にしてください。

・ 全音停止以外は、「ウエーブ音」と「ボイス音」の設定は個別設定になります。
 「ボイス音」はテルネット画面のボイスメッセージで設定し、「ウエーブ音」は環境設定で設定を行います。(P-2 参照)
 ※ 「全音停止」としている場合は、ボイス音も含めてテルネットのアップ情報に関する全ての音を停止します。

ボイス音関係(ON・OFF)環境設定場所

① メインオプション

その他の環境設定

環境設定のサウンド関連分が表示されます。

サウンドはDXCCニュー、やBGALOGの動作状態をお知らせするものです。極力、出力に設定してご使用ください。

環境設定記載場所 = (10000010 AllSpeechOff)
 停止した場合は、メイン画面のメッセージ欄に音声の内容が追記されていきます。
 テルネットからのDXCCニューについてはテルネットのオプション画面で設定
 環境設定記載場所 = (10000130 DxccSoundOnOff)
 FT8についてはテルネット画面の(New)ボイスで設定
 環境設定記載場所 = (02042070 JT NewVoice)

ポート番号	項目	設定データ (直接修正可能)	説明文	分類
03000010	Wanted	A82Z	記入例「5N7M ZK2C FWONAR HU2DX」: 求める局を半角のスペース区切りで登録します。テルネットに表示時に音で知らせます。未使用時半角のスペースを入力	サウト BANDスコプ
03000030	Wanted2		上記「10000046 Wanted」で取まらない場合にはこちらへも記入してください。未使用時半角のスペースを入力	EET BANDスコプ サウト
03000040	WantedPre	3YB 7X C31 CY0 CY9 FR/J HH KP5 P5 PY0T SV/A VP8H VP9 YW0 ZS8 Z6	音を出したいプリフィックス (例: HH, KP1, P5) を記入 未使用時半角のスペースを入力	WEAV BANDスコプ サウト
10000010	AllSpeechOff	0	0=サウンド出力、1=サウンド停止 (補助説明の音声をストックします。) 「標準=0、極力0で出力してください。(エラー時等の重要事項については、停止できません) 停止されたメッセージ内容はチェック音及びメイン画面のメッセージ欄に追記表示されます。	WAV サウト
10000130	DxccSoundOnOff	1	0=サウンド停止、1=サウンド出力。ここで「0 (サウンド停止)」を洗濯すると次以降の1~9までの設定にかかわらず「DXCCのNEW、クラブログ等のニューを含む」テルネットに関する全てのウェブ音は出力されません。	WAV サウト
10000150	Sound#WAV1	TADA.WAV	NEW => JA => MIX TADA.WAV (ジャジャーン) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000170	Sound#WAV2	RINGOUT.WAV	NEW => JA => モード、バンド ニュー RINGIN.WAV (ベル) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000190	Sound#WAV3	CHIMES.WAV	NEW => JA => 穴埋め ニュー NOTIFY.WAV (ファオン) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000210	Sound#WAV4		NEW => DX => MIX CHIMES.WAV (チャラーン) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000230	Sound#WAV5		NEW => DX => モード、バンド ニュー RINGOUT.WAV (ブルブル) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000250	Sound#WAV6	TADA.WAV	クラブ => JA CHORD.WAV (ブム) (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000270	Sound#WAV7	CHIMES.WAV	クラブ => DX ↑ を適宜各所に書き込んでください	WAV サウト
10000290	Sound#WAV8	TADA.WAV	パディション => JA (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
10000310	Sound#WAV9	CHORD.WAV	パディション => DX (注: この音を出さない場合は「スペース」)	WAV サウト
43000010	Voice	111001011	ボイス音の発生場所を設定します。ウェブの音設定の①~⑨です。	WAV サウト
43000030	Nenkan0to	1	1=年間DXCCニューの場合に音を出す。0=出さない。	WAV サウト
43000040	Nenkan0toJA	1	1=上記のONの場合JAのみ音を出す。1=JAのみ、0=全て	WAV サウト
43000110	PeditonNewVoice	1	パディション時の日本語のぼタス発生発生 1=発生 (標準) 0=停止 レ=パディション時の音声停止 (「Pediton New!」のような日本語のアナウンスのみ停止)	サウト

終了しました。等の、BGALOGからの進捗等の案内メッセージ設定

WAV1~9

好みのサウンドを設定してください。未設定はチェック音(チン)です。

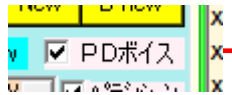
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 全停止

全停止

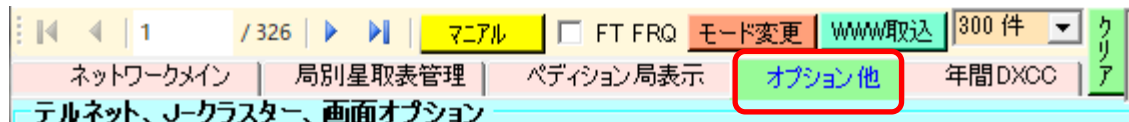
=JA、近辺 局 = - JA外DX- JALo DX JALo DX X

=年間DXCCは全て無音とする。
 レ=年間DXCCニューの場合は音を出す。
 下のオプションを選択
 レ=JA近辺からのレポートのみ音を出す。
 =レポート者に関係なく全て音を出す

参考: 私はJAからのレポートのみを出力するように上記のように設定しています。



レ=パディション時の音声停止 (日本語のアナウンスのみ停止、環境登録無し)
 “Pediton New!”等の音声停止



このマニュアルです。

43000010	Voice	111001011
----------	-------	-----------

1～9までが登録されています。

DXCCニュー時のボイスメッセージ音

ボイス発生場所にチェックを入れてください。
(番号は設定マニュアルにリンクしています。)

音設定
マニュアル

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	全停止
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
=JA、近辺 局= - JA外DX- JALo DX JALo DX X									

=年間DXCCは全て無音とする。
 レ=年間DXCCニューの場合は音を出す。
 下のオプションを選択

レ=JA近辺からのレポートのみ音を出す。
 =レポート者に関係なく全て音を出す

上記「①～⑨」のサウンドファイル選択状況
 サウンド全体の音[出力設定]状況 = 1(0=音停止、1=出力)
 環境へのサウンド設定状況
 ①=TADA.WAV、②=RINGOUT.WAV、③=CHIMES.WAV
 ④=CHIMES.WAV、⑤=CHIMES.WAV、⑥=TADA.WAV
 ⑦=CHIMES.WAV、⑧=TADA.WAV、⑨=CHORD.WAV

環境へサウンド未設定の場合はチャイム音「CHIMES.WAV」を出力
 サウンド名を環境で直接変更は、BGALOGの再起動後に有効

年間DXCCのニューが出た場合に音声で表示されます。その時、JA近辺のみとしたい場合は下にもチェックが必要です。

ウエーブ音(ボイス音)設定
P-1のフローチャートを参照

※ 起動時の音声、エラー時のメッセージ等、重要事項については停止することが出来ません。

[音声合成の設定場所]
音声合成の設定場所は次の通りです。

WAV音は、「C:¥Windows¥Media¥」内に保存されています。
(指定しているファイルがない場合は正しい音が出力されません。)
※ 好みのファイルが無い場合は、他のPC等からこのフォルダーにコピーしてください。

The image shows a Windows Control Panel window for 'Speech Recognition' settings. On the left, there are navigation links: 'Control Panel Home', 'Advanced Speech Options', and 'Speech Synthesis'. The main content area is titled 'Speech Recognition Function Structure' and lists several tasks with icons: 'Start Speech Recognition (S)', 'Set up microphone (M)', 'Implement Speech Recognition Tutorial (P)', 'Improve recognition accuracy by training the computer (R)', and 'Open the Speech Reference Card (C)'. Overlaid on the right is the 'Speech Recognition Properties' dialog box, which has two tabs: 'Speech Recognition' and 'Speech Synthesis'. The 'Speech Synthesis' tab is active, showing a dropdown menu for 'Voice Selection' set to 'Microsoft Haruka Desktop - Japanese', a 'Set (S)...' button, a text field for 'Next text to use for voice playback (U):' containing 'Microsoft Haruka Desktop - Japanese that is selected as the default voice of the computer.', a 'Play Voice (P)' button, a 'Voice Speed (C)' slider set to 'Standard', and buttons for 'Audio Output (O)...' and 'Detailed Settings (D)...'. At the bottom of the dialog are 'OK', 'Cancel', and 'Apply (A)' buttons.